

家造りが終わった後も、一生付き合える関係でいられるハウスメーカーです。

「土地勘が無いまま、家族4人で毎月1度は神奈川から宮城へ。子供の体調が悪い時に商談は次にしよう」と病院の手配をしてくれたスタッフの方の人柄が決め手になりました。」

次世代の住まい  
CASE 12  
宮城県大崎市  
Kさんの家  
取材日/2010年6月13日



リビングに併設した、広々ダイニングキッチン。現代的なシステムキッチンにもみの木の質感が調和しています。リビングテーブルもダイニングテーブルもガラステーブルを使用し、もみの木を隠さず、床面を見せることで室内の空間がぐっと広がっています。



吹き抜けと5角形の出窓から降り注ぐ陽射し。吹き抜けに梁を出し、2階上部の窓からも充分な採光。日中は照明要らずの明るさそう。もみの木フロアと腰壁に白と黒を基調としたインテリアが映えます。

神奈川で既にマイホームを建てられていたK様ご夫妻。2年前に宮城への転勤が決まり、神奈川の自宅の売却と宮城での土地探し、ハウスメーカー選定をスタートされました。宿泊体験を行うハウスメーカーはほぼすべてまわられた後に、当社の宿泊体験をご利用に。宿泊された次の日にモバイルハウスで打ち合わせを行っていた際、子供の体調不良に気付いたスタッフが打ち合わせを中止し、病院への手配をしたことがご契約のきっかけになったそう。「今まで何社も回って営業の方は売りたい一心で打ち合わせをされますし、こちらもまたいつ宮城に来られるかわからないあせっている状況でしたので商談を中止しようと言われた時にはびっくり。自分たち家族のことをちゃんと考えてくれるハウスメーカーさんじゃないかな、と思って。」とご主人。「契約後の土地探しでも、子供たちの学区のことも、近隣にどんなスーパーや病院や幼稚園があるか、実際にスタッフの方が歩いて時間まで測ってくれて、リアルな情報をもらえて助かりました。」とおほめの言葉が。

「住んでみてびっくりしたのは以前は2台使用していた除湿器が全くいらなくなったこと。場所も取るので処分しようかと思っています。」と奥様。



担当より一言  
営業 吉田

「宿泊体験がきるんですか？」  
K様と初めてお話ししたのはお電話でした。それから何度かお電話させて頂き、翌月の八月のお盆期間に宿泊棟でK様ご家族とお会いしました。転勤がからんで宮城に移り住むということで、宮城の色んなメーカーや宅地を3日間程の日程でご覧になっており、移動がかなりお疲れの様子でしたが熱心にお話を聞いて頂いた事が印象に残っております。またお子様たちとも来店の際はいつも一緒に遊んでくれても仲良くなり「ヨッシー」という愛称まで付けてもらいました。

それからも打ち合わせで何度か宿泊棟に泊まって頂き、徐々に当社のもみの木を気に入って頂いた様子でした。また一度宿泊棟で焼肉パーティーを一緒にさせて頂いた時も、次の日焼肉の臭いがしなかったよとおっしゃられ、宿泊されるたびに、もみの木をご理解されているようでした。これからK様ご家族とは末永くお付き合いをさせて頂きたいと思っております。本当にありがとうございます。

2回目のマイホーム建築となるK様邸には様々な工夫がいっぱい。来客の導線も考えた間取りや、広さと明るさを両立させた吹き抜け、窓、廊下の造り。どのお部屋にいても自然の太陽光が降り注ぎ、もみの木と白色の塗り壁が心地よい安らぎ空間を演出してくれれます。この家に居る人、来る人すべての人にやさしいおうちが出来上がりました。



キッチンからリビングと、2階へあがるリビング階段が見渡せます。右側通路を進むと、正面奥に和室の客間、手前にはバスルーム、お手洗いが続く。家事導線も考慮しながら、どこにいても家族に目が届く間取りになっています。



リビング正面部分の壁は、後ろに2階へ続くリビング階段が。クールホワイトのカラーに取りつけられた4つの飾り窓とアクセサリーの演出は奥様のアイデア。ドアを設置せず、緩やかなカーブのある出入口も美しいアクセントに。



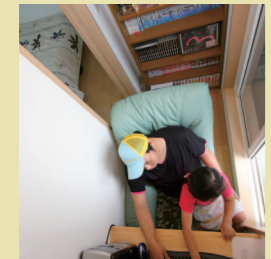
長女のHちゃんのお部屋は大好きなピンク色が統一。K様邸は、何とすべてのお部屋に窓が2つ以上!角面を有効に使えるようにお部屋を配置、さまざまな角度から太陽の自然の光を取り入れていらっしゃいます。



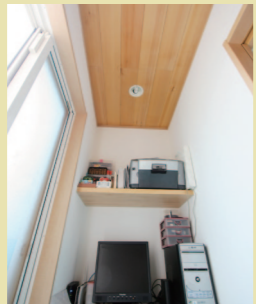
長男Y君の子供部屋。「小さい子供のうちは、ものを投げたりして音を出すのが当たり前。存分に遊べるように。」とご主人。滑り台やお気に入りのおもちゃがいっぱいのお部屋です。



CASE12:宮城県大崎市 Kさんのお宅  
家族構成:夫・妻・長女(5歳)・長男(1歳)  
延べ床面積:35坪 部屋4L+DK  
こだわり設備:1階・2階とも全フロアにもみの木+健康塗り壁



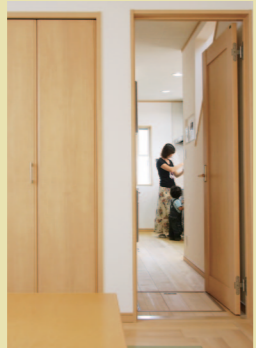
ご主人自慢の書斎兼喫煙ルーム。ご夫婦の寝室とバルコニーの間に約1坪ほどのスペースを確保。「家族に受動喫煙をさせることなく、パソコンをいじりながら、くつろいでたばこを吸える場所がほしい」とのごことで実現したお部屋。



隣の写真を下から撮影。天井に使用しているのは、何ともみのもみ。抜群の消臭効果でたばこを吸ってから5分もしたら臭いが消えるのご主人。愛煙家垂涎的ですね。



リビング階段を上がると、2階には渡り廊下が。奥にはバルコニー、手前には寝室と子供部屋が2部屋。左手の壁から下を見ると、リビングが見えます。子供たちにとっては格好の遊び場ですね。



来客の宿泊が多いK様邸。お客様が気を使わず、お手洗いやバスルームに行けるように、リビングを通らず客間から動ける導線を作りました。家事導線も併用しているスグレモノ。

